



6月の合計降水量は、平年の55%と極端な干ばつ状態が続いていますが、7月末までは、輪紋病・炭疽病・褐斑病の最重要防除期間です。現状は、高温状態が続いているのが、今後、集中豪雨等があれば一気に高温・多湿状態となり、病害の感染が拡大しますので、細心の注意を持って防除を進めてください。

過去2年間に輪紋病・炭そ病・褐斑病が多発した園では、今回の特別散布を実施し、病害の予防に努めてください。また、予防散布を基本としていますので、雨が続く前に確実に散布してください。

6月中旬からハダニ類の発生が見られます。園の発生調査をこまめに行い、発生が多い場合は遅れないように防除を進めましょう。詳しくは下記の内容によりますが、不明な点は営農センター担当までお問い合わせください。

りんご

特別散布・・・前回より7~10日後

散布時期：7月12日~18日 *注意事項①参照

散布薬剤：水 100ℓ

展着剤 10ml *注意事項②参照

ダイパワー水和剤 100g (14日前、3回) *注意事項③参照

散布量：10a当り 600ℓ *注意事項④参照

対象病害虫：輪紋病、炭疽病、斑点落葉病、褐斑病

散布日	月	日
散布量		ℓ

注意事項*必ずお読みください。

- ① 輪紋病・炭疽病・褐斑病対策の特別散布となります。今回の散布は遅れないように進める。尚、予防散布を前提としているので、上記の散布目安日より前倒しても良い。
- ② 梅雨期における防除では、展着剤としてアビオンEの1000倍(100ℓに100ml)を使用すると効果が高い。
- ③ ダイパワー水和剤に代えて、オキシラン水和剤500倍又はフロントフロアブル2000倍でも良い。代替薬剤の詳細については営農センターまでお問い合わせください。
- ④ 園全体にタップリかかるように散布し、死角がないように注意する。過繁茂状態の園では、徒長枝切り等の管理を散布前に実施すること。
- ⑤ ハダニ類の発生が多い場合は、第9回散布予定のダニサラバフロアブル1,000倍(前日、2回)を繰り返して今回の薬剤散布に混用しても良い。尚、詳しくは営農センターまでお問い合わせください。

次回の定期散布は、梅雨明け後の7/20~25となります。ハダニ類やシンクイムシ類の重要防除期となりますので遅れないように散布しましょう。